

**令和7年度
訪問看護管理者研修
ベーシックⅠ
第2回**

受講の手引き



一般社団法人 全国訪問看護事業協会

令和7年9月

目次

1	はじめに	3
2	ベーシック I の概要	4
3	オンデマンド配信	4
	（1）配信期間	4
	（2）プログラム.....	4
	（3）留意事項	4
4	ライブ配信.....	4
	（1）受講日時	4
	（2）プログラム.....	5
	（3）留意事項	5
5	対面による集合研修	5
	（1）受講日時	5
	（2）会 場	5
	（3）プログラム.....	5
	（4）留意事項	6
6	修了証の発行について	7
7	問い合わせ先.....	7
8	事前課題等一覧.....	8
	ベーシック I プログラム（全体版）	9
	ベーシック I プログラム（オンデマンド）	10
	ベーシック I プログラム（ライブ配信）	11
	ベーシック I プログラム（対面による集合研修）	12
	ワークシート 1	13
	ワークシート 2	14
	ワークシート 3	16
	ワークシート 4.....	17

1 はじめに

この度は、「全国訪問看護事業協会 訪問看護管理者研修ベーシックⅠ」をお申し込みいただき、ありがとうございます。

今後 2040 年に向かって、高齢者数は過去最多となり、在宅療養者の急増と多様化、複雑化が見込まれています。このような状況のなかで、訪問看護ステーションは、国民の安全・安心な生活を支え、多世代に渡る多様なニーズに対応し、地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会実現に向けて、その中核的な役割を担うことが期待されています。

当協会では、これらの役割を担うことができる、そしてあらたな訪問看護のあり方を考え、これからの訪問看護業界を牽引できる資質と力量を備えた管理者の養成を目的とし、訪問看護管理者研修キャリアラダー（下図参照）を策定しました。

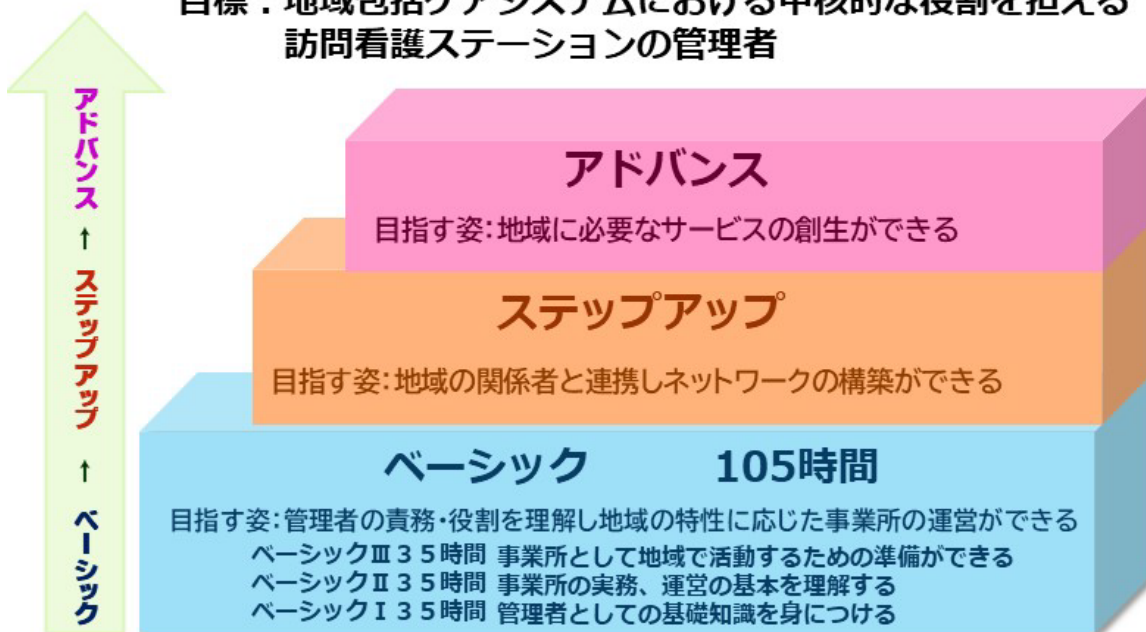
令和7年度は、その第1ステップとして、今回お申し込みいただいた「ベーシックⅠ」を開講します。令和8年度以降、ベーシックⅡ、Ⅲ、ステップアップ、アドバンスを順次開講予定としています。

受講される皆さまには、本研修が実り多きものとなるよう、この「研修の手引き」の留意事項等を十分ご確認のうえ、ご参加下さいますようお願いいたします。

一人ひとりの受講者の皆さまにとって、本研修がステップアップできる学びの場となることを期待しています。

全国訪問看護事業協会 訪問看護管理者研修 キャリアラダー

目標：地域包括ケアシステムにおける中核的な役割を担える
訪問看護ステーションの管理者



2 ベーシック I の概要

研修会名	訪問看護管理者研修 ベーシック I
目指す姿	管理者としての基礎知識を身につける
全体プログラム (35 時間)	p.9
オンデマンド配信 (14 時間 30 分)	(配信期間) 令和 7 年 11 月 20 日 (木) ~令和 8 年 1 月 31 日 (土) (プログラム) p.10
ライブ配信 (10 時間)	(受講日時) 令和 7 年 12 月 13 日 (土) 10 時 00 分~16 時 00 分 令和 8 年 1 月 10 日 (土) 10 時 00 分~16 時 15 分 (プログラム) p.11
対面による集合研修 (10 時間 30 分)	(受講日時) 令和 8 年 1 月 23 日 (金) 10 時 00 分~17 時 30 分 令和 8 年 1 月 24 日 (土) 9 時 30 分~15 時 45 分 (プログラム) p.12

3 オンデマンド配信

(1) 配信期間

令和 7 年 11 月 20 日 (木) ~令和 8 年 1 月 31 日 (土)

(2) プログラム

別紙 2 プログラム (オンデマンド) のとおり [p.10](#)

(3) 留意事項

- ① 講義動画を視聴するための ID やパスワードは配信開始日にメールします。
- ② 講義資料はオンデマンド配信の受講画面からダウンロードしてください。
- ③ オンデマンド配信には受講期間が設けられています。配信期間内にすべて動画の視聴と講義資料のダウンロードを済ませてください。
- ④ 一部の講義の公開が遅れる場合があります。配信予定日については、受講画面の講義名に記載される日時をご確認のうえ受講してください。

4 ライブ配信

(1) 受講日時

令和 7 年 12 月 13 日 (土) 10 時 00 分~16 時 00 分

令和 8 年 1 月 10 日 (土) 10 時 00 分~16 時 15 分

(2) プログラム

別紙 3 プログラム（ライブ配信）のとおりに [p.11](#)

(3) 留意事項

- ① 事前課題やワークシートの提出が必要な講義があります。ワークシートは、ライブ配信の受講画面や訪問看護管理者研修のポータルサイトから所定の用紙をダウンロードのうえ、各項目に記入・入力後に印刷してご持参ください。
事前課題を課している講義科目と課題の内容、提出期限等は「8 事前課題一覧」 [P.8](#) をご覧ください。なお、事前課題は、必ず提出期限までにご提出ください。
- ② WEB 会議システム（Zoom）を使用します。ミーティングルーム情報はライブ配信の 1 週間前までにメールします。
- ③ 受講にあたり、事前に Zoom アプリをインストールのうえ、マイクやスピーカーが正常に動作するか確認しておいてください。
表示名は受講者の氏名（フルネーム）に設定してください。
- ④ 講義資料はライブ研修開始前にオンデマンド配信の受講画面からダウンロード印刷した資料を必ず手元にご用意ください。
- ⑤ ライブ配信では、双方向のコミュニケーションを重視しており、安定したインターネット接続環境と Web カメラやマイクをご用意ください。
- ⑥ 必ず顔出しでご参加ください。また、講義中の入退出はお控えください。
- ⑦ Zoom 会場には 30 分前から入室できます。遅くとも 15 分前には入室してください。

5 対面による集合研修

(1) 受講日時

令和 8 年 1 月 23 日（金） 10 時 00 分～ 17 時 30 分

令和 8 年 1 月 24 日（土） 9 時 30 分～ 15 時 45 分

(2) 会 場

OMM 会議室グランホール

大阪府大阪市中央区大手前 1 丁目 7 番 31 号

大阪マーチャンダイズ・マート（OMM）ビル 1 階

<https://www.omm.co.jp/access/>

(3) プログラム

別紙 4 プログラム（対面による集合研修）のとおりに [p.12](#)

(4) 留意事項

- ① 講義資料は受講日当日に配布します。
- ② 1月23日（金）受講者の皆さまの親睦と交流の場として、昼食会を開催します。昼食代として、当日1,000円徴収します。（現金のみ）
- ③ 1月24日（土）「経営状態の把握・評価・改善」の講義において、電卓を使用しますのでご準備ください。電卓をお持ちでない場合は、スマートフォンで代用してください。
- ④ 事前課題やワークシートの提出が必要な講義があります。ワークシートは、ライブ配信の受講画面や訪問看護管理者研修のポータルサイトから所定の用紙をダウンロードのうえ、各項目に記入・入力後に印刷してご持参ください。
事前課題を課している講義科目と課題の内容、提出期限等は「8 事前課題一覧」[P.8](#)をご覧ください。なお、事前課題は、必ず提出期限までにご提出ください。
- ⑤ 対面による集合研修の講義科目のなかには、演習・グループワーク受講に当たって、事前に指定したオンデマンドの受講が必要なものがあります。下記講義科目については、必ず事前に該当するオンデマンドを受講してから参加してください。

事前にオンデマンドの受講が必要な科目一覧

受講日	学習方法 講義時間	対面による集合研修 講義科目	事前にオンデマンド受講が 必要な講義科目	講義 時間
1月23日 （金）	演習 1時間	リスクマネジメントの考え方 と実際	リスクマネジメントの考え方 と実際	2時間
1月24日 （土）	演習 4時間	経営状態の把握・評価・改善	経営状態の把握・評価・改善	2時間
1月24日 （土）	演習 2時間	事業所自己評価のガイドラインを用いた自己評価の方法「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン」を用いた自己評価の実際	訪問看護における質評価指標について	2時間

- ⑥ 対面研修については、遅刻・中抜け・早退は認められません。
- ⑦ 原則パソコン・タブレットは使用禁止です。
- ⑧ 筆記用具など必要な物品を用意してください。
- ⑨ 会場までの交通費は各自で支弁してください。

6 修了証の発行について

すべての講義を受講し、事前課題を提出し、アンケートにご回答いただいた方に修了証を発行します。また、ライブ配信、対面による集合研修について、やむを得ない事情の場合は、1回に限り振替受講が可能です。事前に当協会にご相談下さい。振替受講の場合は、振替受講終了後に修了証を発行します。なお、振替受講は、次回以降の同研修会開講時の受講となりますので、受講及び修了証発行までに相当の期間を要します。また、振替受講には、手数料がかかります。

7 問い合わせ先

一般社団法人 全国訪問看護事業協会

住所：東京都新宿区新宿 1 - 3 - 1 2 壱丁目参番館 401

電話：03（3351）5898

メールアドレス：senior-semi@zenhokan.or.jp

8 事前課題等一覧

受講日 学習方法	講義名	課題 番号	提出期限	事前課題 (ワークシート・留意事項)
12月13日 (土) ライブ	管理者の役割と責務	1	12月5日 (金) ※②は受講 日当日持参	①【ワークシート4】チェックシートの記載 留意事項：就業していない方は、可能な範囲で記載すること https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-4.xlsx ②自事業所の理念を持参すること（就業している方のみ）
1月23日 (金) 集合	事例検討 「成功・失敗事例を通して 管理者の能力を学ぶ」	2	1月16日 (金)	①【ワークシート1】管理者としての失敗（うまくいかなかった）例 の記載 https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-1.docx ※留意事項：管理者出ない方は、現在の立場での失敗例を記載すること
1月23日 (金) 集合	リスクマネジメントの 考え方と実際	3	受講日 当日持参	・事業所の災害及び感染症の業務継続計画（BCP）を持参すること
1月24日 (土) 集合	経営状態の把握・評価・ 改善	4	1月16日 (金)	①【ワークシート2】現状分析シートの記載 https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-2.xlsx 留意事項：就業していない方は、各算定要件等を確認のうえ、訪問看護ステーションを想定し、可能な範囲で記載すること ②【ワークシート3】収支シートの記載 https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-3.xlsx 留意事項：就業していない方等で記載が出来ない場合は、次の書籍に目を通すなど、各自可能な範囲で、診療報酬や介護報酬についての理解を深めておくこと ○訪問看護実務相談Q&A 令和7年版 （中央法規） ○訪問看護業務の手引き 令和7年度版 （社会保健研究所）
1月24日 (土) 集合	事業所自己評価のガイド ラインを用いた自己評価 の方法「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン」 を用いた自己評価の実際	5	—	①「事業所自己評価のガイドライン(第2版)」を読んでくること https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/h30-1-guide.pdf ②「自己評価ガイドラインと Web システムの使用方法」を視聴すること(当協会ホームページ「自己評価ガイドライン使い方動画」 https://www.zenhokan.or.jp/movieportal/) ③一項目だけでも実際に評価してみる。余裕があれば数項目～全項目を実施してみる

※提出先メールアドレス：senior-semi@zenhokan.or.jp

ベーシックIプログラム（全体版）

●オンデマンド配信（14時間30分）		配信期間：11月20日（木）～令和8年1月31日（土）				
●ライブ配信（10時間）		開催日時：12月13日（土）10時00分～16時00分、1月10日（土）10時00分～16時15分				
●対面による集合研修（10時間30分）		開催日時：1月23日（金）10時00分～17時30分、1月24日（土）9時30分～15時45分				
目指す姿：管理者としての基礎知識を身につける						
講義名	学習方法	受講方法	講義時間	到達目標	講義内容	講師
地域包括ケアシステム 管理者を取り巻く諸制度と状況	講義	ライブ 12月13日（土） 10時00分～12時00分	2時間	●地域包括ケアシステムの理念を理解し構築・推進することができる。 ●訪問看護事業所の理念を明確にし、訪問看護および事業所が取り組むべき基本的な役割を説明することができる。 ●制度を厳守して運営することができる。	・地域包括ケアシステム ・地域共生社会 ・訪問看護を取り巻く諸制度の動向 ・社会保障制度の現状と課題・保健医療福祉サービスの現状と課題	訪問看護ステーション鶴江 所長 尾田 優美子 氏
管理者の役割と責務	講義 演習	ライブ 12月13日（土） 13時00分～16時00分	3時間	●管理者として事業所の理念を持って、管理・運営の基礎が理解できる。 ●役割及び管理業務の実際を具体的に説明することができる。 ●倫理観をもつて運営責任者として自覚と取り組みを説明することができる。 ●管理者としての自己の在り方を考察し、課題を明確にできる。	・管理者の制度的な位置づけと役割・機能 ・組織及び事業所の理念について ・基本的な管理・運営業務の概要と実際 ・管理者の責務 《演習》理念及び管理者の役割と責務 《事前課題①》 ・ワークシート4（チェックシート）を記載すること ・自事業所の理念を持参すること	
事例検討「成功・失敗事例を通して 管理者の能力を学ぶ」	講義 演習	集合 1月23日（金） 10時00分～14時30分 （昼食会・休憩90分含む）	3時間	●組織（法人）における訪問看護ステーションの管理者としての役割を認識し、訪問看護の機能を他者に説明することができる。 ●自組織の中で、看護管理者の位置づけを理解でき、具体的な成功・失敗事例を通して管理者の能力を学ぶことができる。	《講義》組織における管理者の役割と責務 《演習》失敗例の解決策を明示する 《事前課題②》管理者としての失敗（うまくいかなかった）例をワークシート1に記載すること	訪問看護ステーションひとみ 管理者 小宮山 日登美 氏
地域資源の把握と活用	講義	オンデマンド	1時間	●地域資源についての理解ができる。地域資源を説明することができ、地域のニーズに沿ったサービス資源を適切な活用方法で説明することができる。	・フォーマル・インフォーマルに関わらず、地域における社会資源の把握と活用方法 ・地域資源の整理・分析	日本訪問看護認定看護師協議会 監事 野崎 加世子 氏
リスクマネジメントの考え方と実際	講義	オンデマンド	2時間	●訪問看護事業所における基本的なリスクマネジメントの理解と実践ができ、訪問看護事業所の安全管理の仕組みを構築できる。 ●主要な感染症への理解と感染対策に取り組むことができる。 ●BCP作成に必要な視点と方法を理解し説明できる。 ●管理者として利用者・家族・職員に対するハラスメント対策の重要性を認識した行動をとることができる。	・訪問看護事業所の安全管理 ・在宅ならではのリスクマネジメントの視点 ・自事業所における具体的なハラスメント対策 ・BCP作成の一般的な考え方（BCPの部分的見直し） 《事前課題③》自事業所のBCPを持参すること	訪問看護ステーションコスモス 管理者 平野 智子 氏
	演習	集合 1月24日（金） 14時45分～15時45分	1時間			
訪問看護で生じやすいリスク・ 事故分析・傷害保険の基礎知識	講義	集合 1月23日（金） 14時45分～15時15分	30分	●訪問看護事業運営上のリスクの分類ができる。 ●保険について知識を得ることができ、事故の想定に応じた保険を備えることができる。	・リスクと保険（事業所・個人）の関係	三井住友海上火災保険株式会社 植田 涉希 氏
チームマネジメントとリーダー シップ	講義	ライブ 1月10日（土） 15時15分～16時15分	1時間	●自事業所におけるチームマネジメントに必要な知識を理解し、連携・協働の在り方を説明することができる。 ●リーダーの役割を伝えることができる。	・チームマネジメントの基本的な考え方と手法から学ぶチームビルディング ・ファシリテーションの基本的な考え方	東邦大学看護学部小児看護学 研究室 教授 荒木 暁子 氏
人材育成・成人学習理論（やる 気・学びの支援） コミュニケーション技術	講義	オンデマンド	1時間30分	●職員に対して在宅療養に必要な教育を行い、チームマネジメントに活かすことができる。 ●組織でのコミュニケーションの充実と、職員の思いを傾聴し、理解する行動がとれる。 ●チームで必要とされるコミュニケーションスキルを理解し、自らの傾向を把握し管理者としての課題を明確にし取り組むことができる。	・コミュニケーション能力と手段 ・成人学習理論・コーチング理論と活用	訪問看護ステーションひとみ 管理者 小宮山 日登美 氏
事例検討～課題の自己分析～	講義 演習	ライブ 1月10日（金） 13時00分～15時00分	2時間	●管理者に必要な問題解決手法を身に付け実践することができる。	・課題解決手法のプレゼンテーション	武蔵野大学看護学部看護学科 教授 酒井 美絵子 氏
経営状態の把握・評価・改善	講義	オンデマンド	2時間	●経営の基礎的知識を学び事業計画をもとに経営計画を立てることができる。 ●経営資源と管理の基礎知識を学び、経営状況を分析・改善でき、将来へのビジョンを事業計画に反映して説明することができる。	・経営の基礎的知識の理解と経理財務の実際 ・経営実務のアセスメント ・事業の採算性と効率化 《事前課題④》ワークシート2（現状分析シート）・ワークシート3（収支シート）を記載すること	渡邊会計事務所 代表 渡邊 尚之 氏
	演習	集合 1月24日（土） 9時30分～14時30分 （昼食休憩60分含む）	4時間			
労務管理の基礎知識と実際	講義	オンデマンド	1時間	●自事業所の運営管理に必要な労務管理の基礎的知識を理解し、適切に実践できる。 ●労務管理の基礎的知識を習得でき、人材確保と定着のための方策と注意点を理解し実践できる。	・労務管理と実際の基礎知識	みもと社会保険労務士事務所 三本 道代 氏
事業所内のメンタルヘルス	講義	オンデマンド	1時間	●働きやすい職場風土を作るための手法を理解でき、職員が安全に働き続けることができる職場環境に配慮できる。	・働きやすい職場環境と必要な要素 ・ワークライフバランスの考え方	
訪問看護における倫理	講義	オンデマンド	1時間	●「看護職の倫理綱領（日本看護協会）」を理解でき、倫理綱領に基づき、職員一人一人が倫理的配慮をすることができる。 ●コンプライアンスの遵守につとめ、それに基づく事業運営ができる。 ●職員が定期的に倫理綱領を確認する機会を設けることができ、訪問看護における倫理的課題について具体的に理解ができる。 ●医療情報の適切な取り扱いができる。	・「看護職の倫理綱領（日本看護協会）」の理解 ・訪問看護とコンプライアンス	日本訪問看護認定看護師協議会 監事 野崎 加世子 氏
権利擁護・法令遵守	講義	オンデマンド	1時間	●人権を擁護するために虐待防止法や個人情報保護法などを遵守して運営できる。 ●虐待防止の指針を共有し、防止対策ができる。	・在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源 ・成年後見制度・任意後見制度 ・個人情報保護法 ・虐待防止 ・ハラスメント	
意思決定支援	講義	オンデマンド	1時間	●「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」に関するガイドラインを説明することができる。 ●ACPの原則に基づき、事業所内の指針を持つことができる。 ●職員の理解と実践ができるよう支援することができる。	・「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」に関するガイドライン ・ACPの実際 ・事例の紹介	東久留米白十字訪問看護ステーション 管理者 中島 朋子 氏
訪問看護における質評価指標に ついて	講義	オンデマンド	2時間	●サービスの質評価の種類と方法を理解し、サービスの質について検討し自事業所の評価を行うことができる。	・訪問看護の質評価指標の種類と理解	
事業所自己評価のガイドライン を用いた自己評価の方法「訪問 看護ステーションにおける事業 所自己評価のガイドライン」を用 いた自己評価の実際	講義 演習	集合 1月23日（金） 15時30分～17時30分	2時間	●事業所で訪問看護自己評価ガイドラインを用いたPDCAサイクルを回すことができ、事業計画に反映することができる。 ●サービスの評価・改善の計画を立案する。	《講義》事業所自己評価のガイドラインを用いた自己評価の方法 《演習》「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン（第2版）」を用いた自己評価の実際 ・PDCAサイクルに基づく質評価 《事前課題⑤》 ・「事業所自己評価のガイドライン（第2版）」を読んでくこと ・自己評価ガイドラインとWebシステムの使用方法」を視聴すること ・一項目だけでも実際に評価してみる。可能であれば数項目～全項目評価してみる	東久留米白十字訪問看護ステーション 管理者 中島 朋子 氏
エビデンスに基づくケアの標準 化	講義	オンデマンド	1時間	●エビデンスに基づくケアの標準化の必要性を理解し、職場内での根拠に基づいたケアに関するマニュアルやガイドラインを整備することができる。	・エビデンスに基づくケアの標準化の必要性について ・業務マニュアルやガイドラインの整備（疾患別マニュアルは除く）	なごみ訪問看護ステーション 副所長 宮田 乃有 氏
職員のキャリアアップのための 研修計画の策定	講義	ライブ 1月10日（土） 10時00分～12時00分	2時間	●人材育成の基礎知識を理解し、事業所の人材育成について計画できる。 ●効果的な学習方法や学習教材等の検討と提供ができる。 ●事例検討などのリフレクションを通し日々の訪問看護実践の学びが共有でき、ケアの標準化と指導方法を確立できる。	・人材育成を考える基礎的知識 ・キャリアラダーの知識と理解	東京科学大学大学院保健衛生学 研究科 ヘルスサービスリサーチ看護学 分野 教授 柏木 聖代 氏
			35時間			

ベーシックIプログラム（オンデマンド）

配信期間:11月20日(木)～1月31日(土)					
オンデマンド配信					
目指す姿:管理者としての基礎知識を身につける					
講義名	学習方法	講義時間	到達目標	講義内容	講師
地域資源の把握と活用	講義	1時間	●地域資源についての理解ができる。地域資源を説明することができ、地域のニーズに沿ったサービス資源を適切な活用方法で説明することができる。	・フォーマル・インフォーマルに関わらず、地域における社会資源の把握と活用方法 ・地域資源の整理・分析	日本訪問看護認定 看護師協議会 監事 野崎 加世子 氏
リスクマネジメントの考え方と実際	講義	2時間	●訪問看護事業所における基本的なリスクマネジメントの理解と実践ができ、訪問看護事業所の安全管理の仕組みを構築できる。 ●主要な感染症への理解と感染対策に取り組むことができる。 ●BCP作成に必要な視点と方法を理解し説明できる。 ●管理者として利用者・家族・職員に対するハラスメント対策の重要性を意識した行動をとることができる。	・訪問看護事業所の安全管理 ・在宅ならではのリスクマネジメントの視点 ・自事業所における具体的なハラスメント対策 ・BCP作成の一般的な考え方(BCPの部分的見直し)	訪問看護ステーション コスモス 管理者 平野 智子 氏
人材育成・成人学習理論(やる気・学びの支援) コミュニケーション技術	講義	1時間30分	●職員に対して在宅療養に必要な教育を行い、チームマネジメントに活かすことができる。 ●組織でのコミュニケーションの充実と、職員の思いを傾聴し、理解する行動がとれる。 ●チームで必要とされるコミュニケーションスキルを理解し、自らの傾向を把握し管理者としての課題を明確にし取り組むことができる。	・コミュニケーション能力と手段 ・成人学習理論・コーチング理論と活用	訪問看護ステーション ひとみ 管理者 小宮山 日登美 氏
経営状態の把握・評価・改善	講義	2時間	●経営の基礎知識を学び事業計画をもとに経営計画を立てることができる。 ●経営資源と管理の基礎知識を学び、経営状況を分析・改善でき、将来へのビジョンを事業計画に反映して説明することができる。	・経営の基礎知識の理解と経理財務の実際 ・経営実務のアセスメント ・事業の採算性と効率化	渡邊会計事務所 代表 渡邊 尚之 氏
労務管理の基礎知識と実際	講義	1時間	●自事業所の運営管理に必要な労務管理の基礎知識を理解し、適切に実践できる。 ●労務管理の基礎知識を習得でき、人材確保と定着のための方策と注意点を理解し実践できる。	・労務管理と実際の基礎知識	みもと社会保険 労務士事務所
事業所内のメンタルヘルス	講義	1時間	●働きやすい職場風土を作るための手法を理解でき、職員が安全に働き続けることができる職場環境に配慮できる。	・働きやすい職場環境と必要な要素 ・ワークライフバランスの考え方	三本 道代 氏
訪問看護における倫理	講義	1時間	●「看護職の倫理綱領(日本看護協会)」を理解でき、倫理綱領に基づき、職員一人一人が倫理的配慮をすることができる。 ●コンプライアンスの遵守につとめ、それに基づく事業運営ができる。 ●職員が定期的に倫理綱領を確認する機会を設けることができ、訪問看護における倫理的課題について具体的に理解ができる。 ●医療情報の適切な取り扱いができる。	・「看護職の倫理綱領(日本看護協会)」の理解 ・訪問看護とコンプライアンス	日本訪問看護認定 看護師協議会 監事 野崎 加世子 氏
権利擁護・法令遵守	講義	1時間	●人権を擁護するために虐待防止法や個人情報保護法などを遵守して運営できる。 ●虐待防止の指針を共有し、防止対策ができる。	・在宅療養者の権利を擁護する制度と社会資源 ・成年後見制度・任意後見制度 ・個人情報保護法 ・虐待防止 ・ハラスメント	日本訪問看護認定 看護師協議会 監事 野崎 加世子 氏
意思決定支援	講義	1時間	●「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を説明することができる。 ●ACPの原則に基づき、事業所内の指針を持つことができる。 ●職員の理解と実践ができるよう支援することができる。	・「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 ・ACPの実際 ・事例の紹介	東久留米白十字 訪問看護ステーション 管理者 中島 朋子 氏
訪問看護における質評価指標について	講義	2時間	●サービスの質評価の種類と方法を理解し、サービスの質について検討と自事業所の評価を行うことができる。	・訪問看護の質評価指標の種類と理解	東久留米白十字 訪問看護ステーション 管理者 中島 朋子 氏
エビデンスに基づくケアの標準化	講義	1時間	●エビデンスに基づくケアの標準化の必要性を理解し、職場内での根拠に基づいたケアに関するマニュアルやガイドラインを整備することができる。	・エビデンスに基づくケアの標準化の必要性について ・業務マニュアルやガイドラインの整備(疾患別マニュアルは除く)	なごみ訪問看護 ステーション 副所長 宮田 乃有 氏
		14時間30分			

ベーシックIプログラム（ライブ配信）

開催日時: 12月13日(土)10時00分～16時00分、1月10日(土)10時00分～16時15分

ライブ配信

目指す姿:管理者としての基礎知識を身につける

受講日時	講義名	学習方法	講義時間	到達目標	講義内容	講師
12月13日 (土) 10時00分～ 12時00分	地域包括ケアシステム 管理者を取り巻く諸制度と状況	講義	2時間	●地域包括ケアシステムの理念を理解し構築・推進することができる。 ●訪問看護事業所の理念を明確にし、訪問看護および事業所が取り組むべき基本的な役割を説明することができる。 ●制度を厳守して運営することができる。	・地域包括ケアシステム ・地域共生社会 ・訪問看護を取り巻く諸制度の動向 ・社会保障制度の現状と課題・保健医療福祉サービスの現状と課題	訪問看護ステーション細江 所長 尾田 優美子 氏
12月13日 (土) 13時00分～ 16時00分	管理者の役割と責務	講義 演習	3時間	●管理者として事業所の理念を持って、管理・運営の基礎が理解できる。 ●役割及び管理業務の実際を具体的に説明することができる。 ●倫理観をもって運営責任者として自覚と取り組みを説明することができる。 ●管理者としての自己の在り方を考察し、課題を明確にできる。	・管理者の制度的な位置づけと役割・機能 ・組織及び事業所の理念について ・基本的な管理・運営業務の概要と実際 ・管理者の責務 《演習》理念及び管理者の役割と責務 (事前課題①) ・ワークシート4(チェックシート)を記載すること ・自事業所の理念を持参すること	訪問看護ステーション細江 所長 尾田 優美子 氏
1月10日(土) 10時00分～ 12時00分	職員のキャリアアップのための研修計画の策定	講義	2時間	●人材育成の基礎知識を理解し、事業所の人材育成について計画できる。 ●効果的な学習方法や学習教材等の検討と提供ができる。 ●事例検討などのリフレクションを通し日々の訪問看護実践の学びが共有でき、ケアの標準化と指導方法を確立できる。	・人材育成を考える基礎的知識 ・キャリアラダーの知識と理解	東京科学大学大学院保健衛生学研究科 ヘルスサービスリサーチ看護学分野 教授 柏木 聖代 氏
1月10日(土) 13時00分～ 15時00分	事例検討～課題の自己分析～	講義 演習	2時間	●管理者に必要な問題解決手法を身に付け実践することができる。	・課題解決手法のプレゼンテーション	武蔵野大学看護学部看護学科 教授 酒井 美絵子 氏
1月10日(土) 15時15分～16時15分	チームマネジメントとリーダーシップ	講義	1時間	●自事業所におけるチームマネジメントに必要な知識を理解し、連携・協働の在り方を説明することができる。 ●リーダーの役割を伝えることができる	・チームマネジメントの基本的な考え方と手法から学ぶチームビルディング ・ファシリテーションの基本的な考え方	東邦大学看護学部小児看護学研究室 教授 荒木 暁子 氏
			10時間			

ベーシックIプログラム（対面による集合研修）

開催日時:1月23日(金)10時00分～17時30分、1月24日(土)9時30分～15時45分
 ※1月23日(金)受講者の皆さまの親睦と交流の場として、昼食会を開催します。

対面による集合研修

目指す姿:管理者としての基礎知識を身につける

受講日時	講義名	学習方法	講義時間	到達目標	講義内容	講師
1月23日(金) 10時00分～ 14時30分 (昼食会・休憩 90分含む)	事例検討「成功・失敗事例を通して管理者の能力を学ぶ」	講義 演習	3時間	●組織(法人)における訪問看護ステーションの管理者としての役割を認識し、訪問看護の機能を他者に説明することができる。 ●自組織の中で、看護管理者の位置づけを理解でき、具体的な成功・失敗事例を通して管理者の能力を学ぶことができる。	《講義》組織における管理者の役割と責務 《演習》失敗例の解決策を明示する (事前課題②)管理者としての失敗(うまくいかなかった)例をワークシート1に記載すること	訪問看護ステーション ひとみ 管理者 小宮山 日登美 氏
1月23日(金) 14時45分～ 15時15分	訪問看護で生じやすいリスク・事故分析・傷害保険の基礎知識	講義	30分	●訪問看護事業運営上のリスクの分類ができる。 ●保険について知識を得ることができ、事故の想定に応じた保険を備えることができる。	・リスクと保険(事業所・個人)の関係	三井住友海上火災保険株式会社 植田 渉希 氏
1月23日(金) 15時30分～ 17時30分	事業所自己評価のガイドラインを用いた自己評価の方法「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン」を用いた自己評価の実際	講義 演習	2時間	●事業所で訪問看護自己評価ガイドラインを用いてPDCAサイクルを回すことができ、事業計画に反映することができる。 ●サービスの評価・改善の計画を立案する。	《講義》事業所自己評価のガイドラインを用いた自己評価の方法 《演習》「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン(第2版)」を用いた自己評価の実際 ・PDCAサイクルに基づく質評価 (事前課題⑤) ・「事業所自己評価のガイドライン(第2版)」を読んでくこと ・「自己評価ガイドラインとWebシステムの使用方」を視聴すること ・一項目だけでも実際に評価してみる。可能であれば数項目～全項目評価してみる	東久留米白十字訪問看護ステーション 管理者 中島 朋子 氏
1月24日(土) 9時30分～ 14時30分 (昼食休憩 60分含む)	経営状態の把握・評価・改善	演習	4時間	●経営の基礎的知識を学び事業計画をもとに経営計画を立てることができる。 ●経営資源と管理の基礎知識を学び、経営状況を分析・改善でき、将来へのビジョンを事業計画に反映して説明することができる。	・経営の基本的知識の理解と経理財務の実際 ・経営実務のアセスメント ・事業の採算性と効率化 (事前課題④)ワークシート2(現状分析シート)・ワークシート3(収支シート)を記載すること	渡邊会計事務所 代表 渡邊 尚之 氏
1月24日(土) 14時45分～ 15時45分	リスクマネジメントの考え方と実際	演習	1時間	●訪問看護事業所における基本的なリスクマネジメントの理解と実践ができ、訪問看護事業所の安全管理の仕組みを構築できる。 ●主要な感染症への理解と感染対策に取り組むことができる。 ●BCP作成に必要な視点と方法を理解し説明できる。 ●管理者として利用者・家族・職員に対するハラスメント対策の重要性を意識した行動をとることができる。	・訪問看護事業所の安全管理 ・在宅ならではのリスクマネジメントの視点 ・自事業所における具体的なハラスメント対策 ・BCP作成の一般的な考え方(BCPの部分的見直し) (事前課題③)自事業所のBCPを持参すること	訪問看護ステーション コスモス 管理者 平野 智子 氏
		10時間30分				

ワークシート1

ダウンロード→ <https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-1.docx>

【ベーシックⅠ ワークシート1】

講義名：事例検討「成功・失敗事例を通して管理者の能力を学ぶ」

事前課題①：管理者としての失敗（うまくいかなかった）例の記載

管理者としての失敗（うまくいかなかった）例の記載

※管理者でない方は、現在の立場での失敗例を記載

日 時 (いつ頃か)	
場 面	
心 境 (考えたこと)	
解 決 策	
そ の 他	

ワークシート2

ダウンロード→ <https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-2.xlsx>

【ベーシックⅠ ワークシート2】 講義名：経営状態の把握・評価・改善										
事前課題③：現状分析シートの記載										
現状分析シート （令和 年 月の状況）直近1ヶ月										
 ……入力箇所										
No.1										
①	施設種別 ※該当する番号にチェック	☐ 01	訪問看護ステーション	☐ 02	病院又は診療所					
		☐ 03	開設予定							
		※ 就業していない方については、記載できる範囲で各算定要件等								
		を確認し、訪問看護ステーションを想定し記載すること								
②	機能強化型訪問看護 管理療養費 ※該当する番号にチェック	☐ 01	機能強化型訪問看護管理療養費1							
		☐ 02	機能強化型訪問看護管理療養費2							
		☐ 03	機能強化型訪問看護管理療養費3							
		☐ 04	算定なし							
③	24時間対応体制の有無	☐ 有	☐ 無	※該当する方にチェック						
④	精神科訪問看護基本療養費届出	☐ 有	☐ 無							
⑤	訪問延べ回数	介護保険	0 件	医療保険						
⑥	介護保険内訳	20分未満		件	30分以上					
		30分以上		件	1時間以上					
		1時間未満			1時間30分未満					
		理学療法士等		件						
⑦	保険別売上高	介護保険		千円	医療保険					
		全体	0	千円						
⑧	1訪問当たりの平均単価	介護保険	#DIV/0!	千円	医療保険	#DIV/0!	千円			
	⑦/⑥	全体	#DIV/0!	千円						
⑨	ターミナルケアの件数 ※直近1年間	(介護保険) ターミナルケア加算					人/年			
		(医療保険) 訪問看護ターミナルケア療養費1					人/年			
		(医療保険) 訪問看護ターミナルケア療養費2					人/年			
⑩	直近6ヶ月間の契約者数の増減 ※終了者数とは、入院・死亡・寛解によるサービス終了または転居により契約終了となった数	月	新規契約者数 (A)		終了者数※ (B)		増減(A)-(B)			
				人		人	0	人		
				人		人	0	人		
				人		人	0	人		
				人		人	0	人		
				人		人	0	人		
				人		人	0	人		
		計	0	人	0	人	0	人		

⑪	各種訪問看護費 の算定状況 ※該当する番号に チェック	【介護保険】					
		☐	01	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所との連携加算			
		☐	02	夜間・早朝・深夜加算	☐	03	長時間訪問看護加算
		☐	04	複数名訪問加算Ⅰ	☐	05	複数名訪問加算Ⅱ
		☐	06	特別地域訪問看護加算	☐	07	中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算
		☐	08	中山間地域等における小規模事業所加算	☐	09	退院時共同指導加算
		☐	10	緊急時訪問看護加算Ⅰ	☐	11	緊急時訪問看護加算Ⅱ
		☐	12	特別管理加算Ⅰ	☐	13	特別管理加算Ⅱ
		☐	14	初回加算Ⅰ	☐	15	初回加算Ⅱ
		☐	16	看護体制強化加算Ⅰ	☐	17	看護体制強化加算Ⅱ
		☐	18	看護・介護職員連携強化加算	☐	19	サービス提供体制強化加算
		☐	20	専門管理加算	☐	21	口腔連携強化加算
		【医療保険】					
		☐	01	難病等複数回訪問看護加算	☐	02	緊急訪問看護加算
		☐	03	長時間訪問看護加算	☐	04	複数名訪問看護加算
		☐	05	夜間・早朝訪問看護加算	☐	06	深夜訪問看護加算
		☐	07	24時間対応体制加算（イ）	☐	08	24時間対応体制加算（ロ）
		☐	09	特別管理加算Ⅰ	☐	10	特別管理加算Ⅱ
		☐	11	退院時共同指導加算	☐	12	特別管理指導加算
		☐	13	退院支援指導加算	☐	14	専門管理加算
		☐	15	在宅患者連携指導加算	☐	16	乳幼児加算
		☐	17	在宅患者緊急時等カンファレンス加算	☐	18	看護介護職員連携強化加算
		☐	19	訪問看護情報提供療養費1	☐	20	訪問看護情報提供療養費2
		☐	21	訪問看護情報提供療養費3	☐	22	訪問看護医療DX情報活用加算
		☐	23	訪問看護ベースアップ評価料Ⅰ	☐	24	訪問看護ベースアップ評価料Ⅱ
		☐	25	遠隔死亡診断補助加算	☐	26	特別地域訪問看護加算

ワークシート3

ダウンロード→ <https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-3.xlsx>

【ベーシック1 ワークシート3】講義名：経営状態の把握・評価・改善									
事前課題③：収支シートの記載									
収支シート									
単位：円									
※ただし、訪問看護件数は回、職員数は人									
区 分				令和 年			計	構成比	
				月	月	月			
収 益	訪 問 看 護	医療保険	件数 (回)				0	-	
			平均単価 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(a) (円)	0	0	0	0		
		介護保険	件数 (回)				0	-	
			平均単価 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(b) (円)	0	0	0	0		
		自費収入(c)						0	
		その他 (d)						0	
		訪問看護収入(A)=(a)+(b)+(C)+(d)			0	0	0	0	
		収益合計 ①=(A)			0	0	0	0	
人 件 費 用	看護職	常 勤	人数 (人)				0	-	
			平均給与 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(e) (円)	0	0	0	0		
		非 常 勤	人数 (人)				0	-	
			平均給与 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(f) (円)	0	0	0	0		
	理学療法士等	常 勤	人数 (人)				0	-	
			平均給与 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(g) (円)	0	0	0	0		
		非 常 勤	人数 (人)				0	-	
			平均給与 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(h) (円)	0	0	0	0		
	事務その他	常 勤	人数 (人)				0	-	
			平均給与 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(i) (円)	0	0	0	0		
		非 常 勤	人数 (人)				0	-	
			平均給与 (円)				#DIV/0!	-	
			小計(j) (円)	0	0	0	0		
	賞与月割額 (引当金) (k)						0		
	法定福利費 (l)						0		
	人件費合計 (B) = (e) ~ (l) の計			0	0	0	0		
	経 費	建物の賃借料 (駐車場含む) (m)						0	
								0	
								0	
		採用費 (紹介手数料) (q)						0	
		その他の費用 (r)						0	
		(m)~(q),(D)を除く経費等							
その他の支出合計(C)= (m) ~ (r) の計			0	0	0	0			
支払利息(D)						0			
費用合計 ②=(B) + (C) + (D)			0	0	0	0			
損益差額 ③=①-②			0	0	0	0			
自 己 資 金 (現預金残高)						0			
借 入 金 (残 高)						0			

※経費等(n)~(p)欄には (例) 広告宣伝費、水道光熱費、消耗品費など主な経費を記載。

ワークシート 4

ダウンロード→<https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/senior-semi1-4.xlsx>

【ベーシックⅠ ワークシート 4】				
訪問看護管理者研修 ベーシックⅠで活用のため改編				
評価基準 5：よくできる（80％以上） 4：できる（60～80％未満） 3：ある程度できる（40～60％未満） 2：努力を要する（20～40％未満） 1：非常に努力を要する（20％未満）				
大項目	中項目	小項目（到達目標）	自己評価	
訪問看護の理解の制度	最新の社会保障制度・訪問看護を取り巻く制度の動向	☐ 健康保険法と介護保険法について理解している ☐ 対象者の保険適応について理解している ☐ 訪問看護の関連制度について理解している（障害者総合支援法・生活保護法・労災・児童福祉法・個人情報保護法・労働関係法令等）		
	運営に関する基準	☐ 指定基準・運営基準（厚生省令・県条例）にのっとり運営している ☐ 届け出関係の書類が整理・管理されており、いつでも取り出すことができる		
	報酬のしくみ	☐ 報酬改定の内容を理解し、運営に反映できている		
訪問看護の理解	訪問看護の特性・配慮	☐ 生活モデルを基盤とした支援を理解している ☐ 生活モデルを基盤とした支援をスタッフと共有している ☐ 利用者の価値観、個性を理解した支援ができる ☐ 利用者の価値観、個性を理解した支援をスタッフと共有・提供できる		
組織の運営及び経営管理	理念	☐ 事業所の理念、職場目標を作成している ☐ 自らが事業所の理念に基づいて考え、行動している ☐ 理念に基づいた運営ができている ☐ スタッフと理念を共有している		
	サービスの質の管理	☐ 会議や日常OJTにおいてサービス提供について情報共有ができ、個別ケースの検討・助言ができる ☐ 看護計画に沿ったサービスが提供できていることを確認し、必要時スタッフと共に見直し修正を行える ☐ 関係機関と情報共有し、連携しながらより適切な看護をスタッフと共に提供している ☐ 利用者・他機関アンケート等を実施し、評価・対策ができる ☐ 職場内で見直しや改善が必要な事柄をスタッフから吸い上げ運営に活かせる		
	リスクマネジメント	☐ 損害賠償保険に加入し、必要時活用できる ☐ 事故・苦情の解決責任者としての対応と職員教育ができる ☐ 必要に応じ行政機関に報告し、指示を受けている ☐ 自事業所のインシデントアクシデントの傾向を把握し、予防・再発防止策の立案・実践・評価が行える		
	職場の環境づくり	☐ 物理的に働きやすい環境作りをスタッフと共に検討できる ☐ ハラスメント対応のできる体制を整えている		
	経営状態の把握	☐ 訪問看護の基本的な収支の仕組みを理解している ☐ 自事業所の収支を把握している（人件費率、訪問単価、収支の状況など） ☐ 所長やスタッフに過度な負担がかからないバランスの取れた経営を考えられる		
	管理者として自己の成長	☐ 管理者自身の特性と能力を把握している ☐ 管理者としての能力を高められるよう、学習機会を持つ ☐ スタッフと適切に面接が実施できるよう面接技術の能力向上に努めている ☐ 管理者を支援する人を作っている		
	スタッフ個々の能力評価と育成	☐ スタッフ個々の特性と能力、強みを見つける視点をもつ ☐ スタッフが自らの看護実践能力を高められるように関わっている ☐ スタッフ個々の特性と能力を把握して、フィードバックをする ☐ スタッフと面接し、モチベーションやキャリアデザイン等を確認し、支援している		
	人材育成計画	☐ 年度ごとに、スタッフ全員の研修計画を立案し、予算化している ☐ 職場内勉強会など必要な研修の受講時間や環境を確保している ☐ 個々のキャリアアップを支援をしている		
	人材の活用	☐ 多様な人材の能力を発揮できるチーム作りをしている ☐ 多様な人材一人ひとりに対する動機付けと支援ができる ☐ スタッフのモチベーション管理を心がけている ☐ スタッフのストレスマネジメントを心がけている		
	地域との連携	医療機関・クリニック・関連機関との連携	☐ 医療・福祉・行政機関の相談窓口を知っており、必要時相談できる ☐ 病院の医療連携・退院調整窓口と連携できている ☐ 連携する総合病院やクリニックの主治医と連絡が取れる体制である ☐ 介護支援専門員や障がい者相談支援専門員、各機関担当者等との連携ができている	
		地域の看護師とのネットワーク作り	☐ 地域の訪問看護研修会に積極的に参加している ☐ 他の訪問看護ステーション管理者と相談できる体制がある	

聖隷浜松地区訪問看護所長評価表より引用

令和 7 年度一般社団法人全国訪問看護事業協会

訪問看護管理者研修ベーシックⅠ第 2 回
受講の手引き

令和 7 年（2025 年）9 月

一般社団法人全国訪問看護事業協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1 丁目 3 番 1 2 号 壱丁目参番館 401